

# 佐伯鶴城新聞



第11号

編集所 立城校  
分館 鶴城校  
大佐高等部  
編集責任者 千香  
佐藤 千香  
佐野 千香

# 練習で身につけた忍耐力

## 4部がさらに上位を狙う

陸上 体操

弓道 水泳



真剣な表情で的を射る(弓道)

県総体が終わり、陸上・体操・弓道・水泳の4部が上位大会出場を決めた。陸上は既に北九州大会を終え、武藤拓海さん(二一六)が三位に入賞し、インターハイ出場を決めた。そこで、県総体に出場したすべての部の主将に試合の感想を聞いた。また、上位大会を決めた部には、試合での抱負を聞いた。

### 1勝でも多く

### 全員が皆中を目指す

男女ともに準優勝という好成績を残した弓道部。聞くと「目標は優勝だったが、まずは九州大会に行けた。九州大会の目標を「決勝トーナメントに残り、一勝でも多くする」と語ってくれた。

男子主将の植田大樹さん(三一六)は「目標としていた優勝には届かなかったが、九州大会に男女で出場できて嬉しい」と話してくれた。

続けて全校生徒に「20射20中を目指したい。応援よろしくお願いします」と語った。



九州大会でも上位を狙う(体操)

### 自己ベストを更新

### 「良い試合が出来た」

陸上部は県総体後、北九州大会に臨んだ。自己ベストを更新する選手には、自己ベストが更新できるような頑張りが欲しい」と話す。

男子主将の川野智仁さん(三一四)は「県総体では今年も総合優勝を獲得できて良かった。自己ベストを更新した人も多かった。北九州大会は緊張したが良い経験になった」と語った。



連覇に向かい突き進む(陸上)

### 満足のいく試合を

### 九州大会で反省を活かす

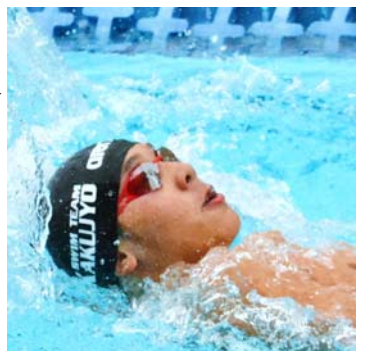
女子団体が8年ぶり二十回目の優勝を果たした体操部。主将の川辺さやかさん(三一四)は「やっと優勝旗をとることが出来た。先生や家族への恩返しになった」と喜びを語った。また、九州大会での目標

について「団体でも個人でも三位以内を目指し、全員が納得のいく試合をする。賞状を一枚でも多く持って帰りたい」と話してくれた。

県総体での反省を活かし、九州大会に向けて練習に取り組んでいる。

### 次の舞台もベストを尽くす

### 先生に元気を頂く



チーム一丸となって泳ぐ(水泳)



全力で打ち返す(バドミントン)

### 燃え尽きた

### 活動を通して大きく成長

「苦しい練習の中で忍耐力が身についた」と語ったのは、水泳部主将・佐藤大樹さん(三一四)である。来月の九州大会に向けて「チーム一丸となって、九州の舞台でもベストが出せるように頑張りたい」と語った。そして、先生に「今までお世話になりました。先生の明るさにも元気を頂いた」と話した。

「全力が出せなかったが悔いはない。笑顔で臨めて良かった」と話してくれたのはバレーボール部男子主将・谷拓海さん(三一三)と女子主将・戸高麻佑さん(三一三)。二人は、「チームプレーの素晴らしさ・難しさ・責任感それに団結することの大切さを学んだ」と話す。



勝利を信じてアタック(バレー)

### 団結することの大切さを学んだ